

## 9. その他本会の目的を達成するために必要な事項

(1) 国交省及び地方行政の理解を得るよう、「SOLAS条約による港湾規制」の問題に取り組んだ。

### 東北地区支部

山形	酒田港はSOLAS条約により6カ所の釣り場に立入が制限されているため、開放に向けて各方面に働きかけをした。
----	---

### 関東地区支部

神奈川	国交省関東地方整備局へ神奈川県釣りの場開放の要望を提出した。
-----	--------------------------------

### 中部地区支部

静岡	清水港の一部・一時開放を清水港湾局に働きかけた。
----	--------------------------

### 近畿地区支部

地区支部	大阪市では、港湾施設立ち入り禁止区域の指定問題があったが、港湾当局と他の釣り団体や有識者検討委員会と協議検討した結果、14カ所が浮輪や縄梯子など安全対策を講じて、釣り場として開放されることになった。これには釣り人側としてのマナーをきちんと守る事が必要で港湾局及び他の釣り団体とも協力し、巡回指導を行っている。また、平成22年1月1日施行の大阪港湾施設の立入禁止区域の指定に伴い、釣り可能な区域のチラシを制作し、フッシングショーOSAKA会場内で配布し、告知活動をした。
------	--

### 北陸地区支部

新潟	直江津港において、JFW親子釣り教室を開催し、直江津港SOLAS地区を開放してもらった。
----	--

### 中国地区支部

山口	毎年5月のゴールデンウィークに、県民釣り開放デーを実施する事になった。
----	-------------------------------------

### 九州地区支部

福岡	5月の連休にあわせて、北九州市門司新浜岸壁の開放を実施した。
大分	9/20、21 大分県5号地西側岸壁に於いて大分5号地開放イベントを実施し、1,000人の釣り人が訪れた。

(2) 釣り公園、釣り桟橋、河川敷釣り場造成、及び港湾施設の開放等を、関係官庁、各県などに、本部・支部連動して行動した。

本部	国交省、水産庁に対し全国釣り公園要望を提出し、回答を頂いた。 熱海海釣り施設の視察を実施した。
----	--

### 関東地区支部

東京	若洲釣り桟橋について都の釣り場調査が開始され、8/12と1/12に中間報告会を行った。 西東京釣具商組合より、奥多摩湖の釣り場整備について要望があり、役員会で検討し行政へ働きかけをした。
群馬	太田市内の農地防災遊水地の一部を釣り場として利用できるように活動し、釣り池がほぼ完成した。

### 中部地区支部

静岡	焼津市の釣り公園「ふいしゅーな」の拡張を依頼した。また、静岡県と協働底力組が開催した静岡県協同事例発表会へ参加し、行政と連携を図った。
愛知	名港（金城埠頭）周辺での禁止も釣り人はかなり理解をし、新しい釣り場ポイントを開拓し始めた。豊橋港の釣り公園について県港湾課に働きかけているが、現状では見込みが立っていない。また、三河湾釣り公園設置の陳情も行った。

### 近畿地区支部

地区支部	2月に大阪市コスモスクエア海浜緑地と舞洲緑地の一部区域を釣り人に開放するための意見募集があり、フッシングショーの会場において、PRに努めた。22年度中に釣り場として開放される予定。
滋賀	釣り桟橋の有効利用について市の担当窓口へ提案をした。

**北陸地区支部**

新潟	新潟県港湾整備課の事務局による「港湾施設における釣り問題研究会」が3回開催され、①港湾荷役に支障をきたさない②安全性が確保されるという条件を整えば釣り場として開放すべしという結論を得て、22年度具体的開放に向けての会議が持たれることになった。
----	---

**中国地区支部**

広島	大竹市阿多田島釣り公園設立のために県議と打合せを行った。
----	------------------------------

**四国地区支部**

愛媛	5月、北条大浦漁港に釣り公園設立のお願いを県・市にアピールした。
----	----------------------------------

**九州地区支部**

地区支部	平成23年度ホブンの宗像大島海上施設に対して、地区支部・福岡県支部が連携をとりながら、宗像市へ全面的に協力をを行い、(株)むなかた大島設立に対しては、九州の釣界全体で協力をを行った。
各県支部	随時、地方整備局や各港湾局へ要望書を提出し、釣り振興に不可欠な釣り場開放、新たな釣り施設の増設を目指した。
地区支部 福岡・長崎	ハウステンボスでの海上釣り堀設置に向けて、地区支部・福岡県支部・長崎県支部と連携を取って、地元の見学や漁協等との折衝などを行った。
福岡	5月の連休を利用して釣りを楽しんでもらうために、北九州市門司新浜岸壁の開放を実施した。平成23年解説の宗像市大島海上体験施設へ魚定着のため、カサゴの放流を実施した。
大分	4/5、大分県港湾振興室に大分5号地開放のお願いに行った。 7/5 別府市にSSオリアナ跡地へ釣り公園設置のお願いをした。 3/17 津久見市山水遊漁センターに釣り場開放のお願いをした。
沖縄	副支部長が、市議、観光関係と九州の釣り公園を視察した。

**(3) 水産庁・環境省・文部科学省ほか諸官庁との情報交換を密にし、遊漁問題の解決と、遊漁行政のレベルアップに繋がる行動を実施した。**

本部	水産庁の要請により、密漁防止等推進委員会にオブザーバー参加し、各県からの印刷物配布等に協力した。また、アユ冷水病防止のパンフレットを昨年引き続き全国の会員釣具店等に配布した。
----	---

**関東地区支部**

埼玉	県、漁協との情報交換を密にし、様々な遊漁問題の解決と、遊漁行政レベルアップにつながる行動を実施した。
----	--

**(4) 外来生物法の動向を注視し、本部・支部ともに釣り振興にのっとった解決を目指した。****関東地区支部**

群馬	「ぐんまのバスフィッシング」ルール啓発ポスターを県内各店舗に掲示して頂いた。
----	--

**近畿地区支部**

京都	11/1 京都市がブラックバス捕獲のため、鴨川に於いて「バス釣り大会」を開催し、当支部が後援した。
----	---

**北陸地区支部**

新潟	新潟県内水面漁場管理委員会内において、静観。
----	------------------------